

Kavli IPMU 記者会見での発言内容

2012年2月8日

IPMU を国際的なカブリ・ファミリーに歓迎し、人類の為に科学をサポートすることは、大変な喜びです。

カブリ財団は科学を推し進め、科学と科学研究の役割について一般の人たちの理解を促進し、科学者とそのお仕事を支援することに専念しています。私たちがカブリ・ファミリーと呼ぶ研究所とその活動のネットワークによって、この目的を達成するのです。

カブリ・ファミリーは今世界で 16 の研究所、宇宙物理・ナノサイエンス・脳科学分野でノルウェーと共同でスポンサーするカブリ賞、カブリ冠教授、米国国立科学アカデミーの事業であるカブリ科学フロンティアシンポジウム、カブリ未来シンポジウム、科学ジャーナリスト会議と賞、イギリスのカブリ王立協会国際センター、その他の活動で作られています。

Kavli IPMU は今ある 15 のカブリ研究所の仲間入りをします。

物理と宇宙物理ではカリフォルニア大学サンタ・バーバラ校、スタンフォード大学、シカゴ大学、マサチューセッツ工科大学 (MIT)、中国科学院、そしてケンブリッジ大学があります。

ナノサイエンスではカリフォルニア工科大学 (カルテク)、コーネル大学、デルフト大学、そしてハーバード大学。

脳科学ではイェール大学、コロンビア大学、カリフォルニア大学サン・ディエゴ校、そしてノルウェー科学技術大学。

私たちは日本の東京大学とパートナーになり、Kavli IPMU がカブリ・ファミリーに加わることは大変喜ばしく、誇りに思っています。なぜなら、IPMU も東京大学もとても高い評価を得ているからです。どちらも質が高く、顕著な日本の技術と科学によって支えられているのです。

私は科学は長い目で、人類にとって大きな益があると信じているので、支援しています。篤志事業は社会にお返しをするアメリカの素晴らしい伝統で、この篤志事業の伝統をアメリカの親友である日本でも共有できることは、大変嬉しいことです。IPMU とパートナーを組み、世界の国境を越えて協力することで、最高の科学を支援していくことができるのは大きな喜びです。